

図書だより

第 9 号
令和5年度
図書委員会



睦月(むつき) 初春月(はつはるづき) 早緑月(さみどりづき)
月名の由来: 新年、人々が集まって睦み合う、つまり仲良くする・親しくすることから。



「紙」だからこそ遊べることをやってみようプロジェクトだよ★

素直に山折り・谷折りしてみよう。

谷折り 山折り



私たちは武力や権力ではなく「伝え合うための言葉」を武器にして戦い、様々な権利や価値観、新しい未来、社会を創り出してきました。その歴史は、多くの書物が教えてくれています。

辰(竜)には「権力」「リーダーシップ」「信頼」という意味があるらしい。麒麟はこなかったけど、救いの竜がきますように。



言葉の力を信じる

司書教諭電が書き初めました。大河ドラマ「光る君へ」の題字が好き。

ブックサンタ

やってみたい★

様々な境遇の子どもたちに本を届けるプロジェクト。「子どものために大人が手を取り合う社会」のために、ぶっくん、頑張ります。

創るために戦う



昨年、司書教諭電が書き初めました。

今年の書き初めは「言葉の力を信じる」。富士中図書館、今年も全力で本(言葉)と人を結びます。よろしくお願いいたします。

「創るために戦う」作品を図書委員が紹介します。学校図書館は、創るための言葉と出合うための場所でもあります。是非、一冊手に取って「知る」ことから始めてください。

書名 彼岸花が咲く島 (913リ)
少女が流れ着いた島では、「二ホ語」と「女語」が話されていた。少女は「宇実」と名付けられ島の少女游那と、少年拓也と交流を深める。宇実、游那、拓也は島独自の文化を変えようとするが、宇実と游那は島の悲惨な歴史を知り、文化や歴史の伝承とその責任について、考えさせられます。
図書委員()

書名 手で見るぼくの世界は (913カ)
私たちは普段「目で見える世界」で過ごしていますが、「手で見る世界」で過ごしている人もいます。その人達のことを何も知らずに心無いことを言う人もいます。目が見えない人が普通に過ごすことが出来る世界であるべきだということをこの本が訴えています。「創るために戦う」今回のテーマにぴったりの本です。
図書委員()

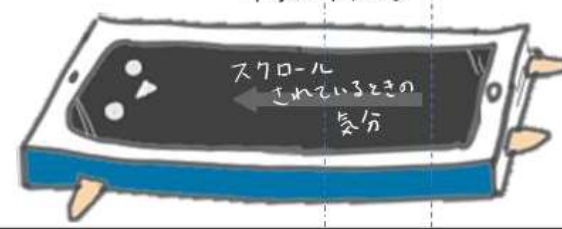
書名 82年生まれ、キム・ジヨン (929チ)
「キム・ジヨンの人生を振り返る中で」出会う女性への差別がテーマの一作。ソウルで舞台の作中に登場する素朴な女性に対して、差別を差別的に書き、考えさせられた。まさに(女性)差別のない世界を「創るために戦う」1作品。映画化もしています。
図書委員()

書名 RE-SPECT リスペクト (913ナ)
ロンドンの老舗ホームズのホステルに住んでいたシンガリマサは、理不尽な理由で住宅の退去を迫られた。自分自身のリスペクトという尊厳を勝ち取り、全員が屋根のある場所に住めるようにするため、権力を握った人々を倒すためにその力を使うという価値観をつくるためにシンガリマサは戦う。
図書委員()

書名 リーチ先生 (913ハ)
「自分の興味があることに、もっと情熱を傾けてみたい。そうすなおに思える人が、リーチ先生にはリーチ・ボタリーには必要なんだ」(本文より) 日本で学んだ陶芸を母国英国で発展させたバーナード・リーチの伝記小説。失敗から学ぶ、人を思いやる、それらの真摯な態度が、周囲を巻き込んで大きな仕事を成し遂げる。まさに「創るために戦う」人々の物語である。
図書委員()

書名 ペイント (929イ)
主人公のジェスはNCという政府が子どもを育てる施設にいる1人。そのセンター長のバグはNC差別から子どもを守るため、またそこから出た後も幸せに過ごしてもらうために尽力する。たが、ジェスはある「ペイント」を通して自分自身、そしてNC差別について向き合い、差別をなくすために戦うことに。
図書委員()

でんしばっくは人に貸せん ※ひとりごと
布教に向かん



本との出会いが育む本当のおつきあい
つなぐのは学校図書館です



「青い鳥」は 何度読んでも最後の話で泣いて いる。
青い鳥 重松清
913/シ 文庫



「知の森」は 歩き方を知っていれば あなたにとって 豊かな世界となる。 知的な道具も 便利な道具も あなたのすぐそばにある。



紹介されている本や関連図書を並べようとしたところ、多くが貸し出し中でした。冬休み中にできる範囲で展示してあります。左の写真は今回紹介した分です。

来月号では他の「創るために戦う」本を紹介します。関連図書と共に展示はしてあります。チラシでも見に来てください。図書委員、頑張って読んで書きました!

今年も富士中学校図書館のご利用、お待ちしております。

